

喉頭の傾けと喉頭の引き下げの違い

喉頭の傾けと喉頭の引き下げの違い

「喉頭を引き下げましょう」というと、単純に喉を下げるんだなーと理解しやすいと思いますが、

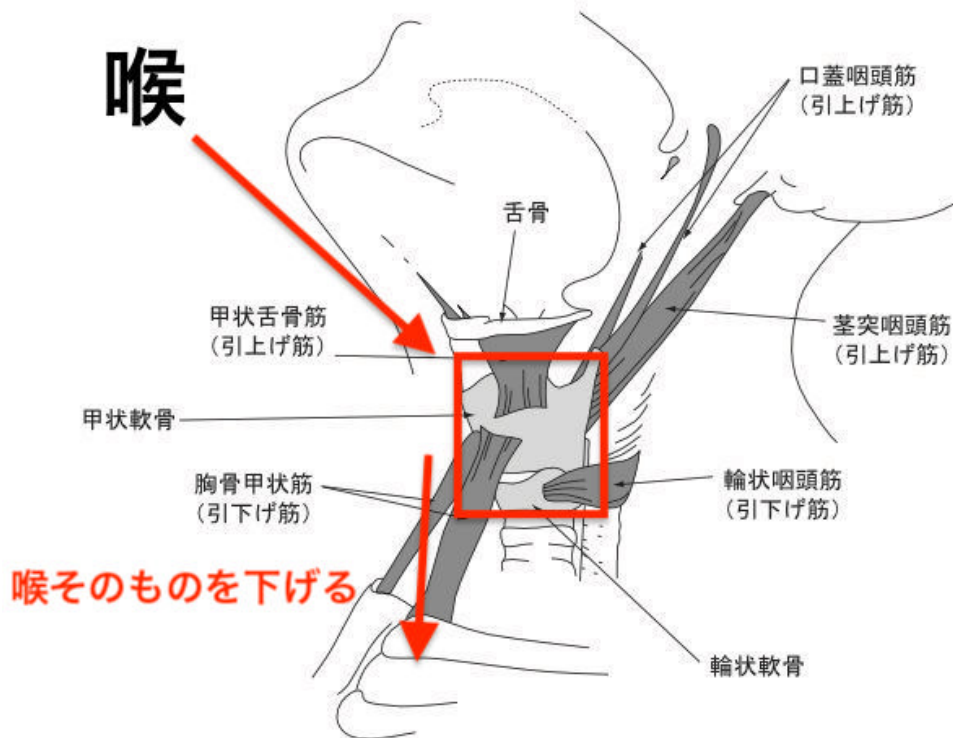
「喉頭を傾けましょう」というと、何が何やらさっぱり意味が分からないですね。

そこでまず結論から。

喉頭を下げる → **喉そのものを引き下げる**

喉頭を傾ける → **甲状軟骨を前に倒す**

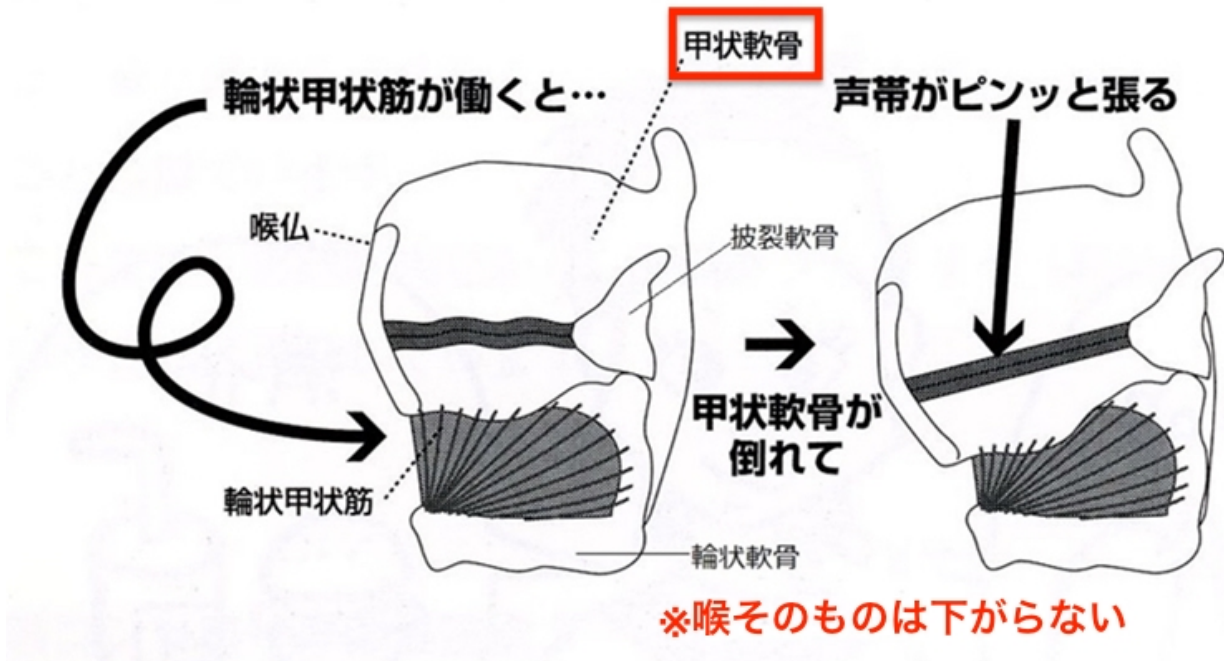
【図：喉頭を引き下げる】



※フースラー『うたうこと 発声器官の肉体的特質』（音楽之友社、1987年）から引用。

喉そのものが引き下がります。

【図：喉頭を傾ける】



喉頭そのものは引き下がらずに、喉頭を構成している
 甲状軟骨だけが前に倒れます。

このように喉頭を傾けると、喉を引き下げた時の

ような野太い声ではなく、

ミュージカル俳優・歌手、声優

のようなどこか深みのあるいわゆる”いい声”が出ます。

(この声を歌に使うかどうかは自由ですが、ここではその話は省きます)

喉頭を傾けることによる効果

① 若干声帯の閉鎖が緩む

喉頭を下げた時のように、若干声帯の閉鎖が緩みます。

つまり少しだけですが、息漏れしやすい状態になるので、

トレーニングに取り入れるときは注意が必要です。

② 仮声帯が開く

喉頭を傾けると仮声帯が開きやすくなります。

③ 喉頭蓋が立ち上がりやすくなる

喉頭を傾けることで、喉頭蓋が立ち上がりやすくなります。

まとめ

喉頭を引き下げるのは、喉頭そのものの位置を下げることに

喉頭を傾けるのは、喉頭そのものの位置は変えずに、

甲状軟骨を前に倒すこと

こんな感じで覚えておいていただければと思います。

